



明けましておめでとうございます。2023 年もよろしく願い申し上げます。
トリプルアイズの光石です。今年もお読みいただきありがとうございます。

トリプルマガジンでは、当社の製品やサービスについてはもちろん、IT・AI に関する最新情報を発信しています。たまに社内の出来事もお知らせします。身近に感じていただけると嬉しいです。

さて今年最初のコラムは、「AIZE Breath に新機能搭載！ 運転日報が記入できるようになりました」というテーマでお届けします。

トリプルニュースでは、「2023 年テクノロジートレンド予測」「春に新卒 28 名が入社します！」「Japan IT Week 春 AI・業務自動化展に出展します」についてご紹介いたします。

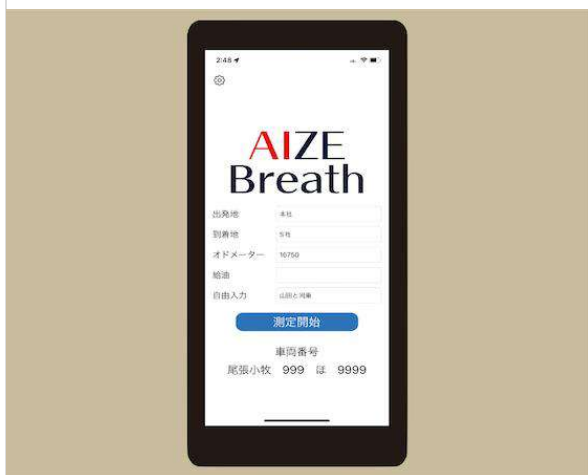
さらに IT 批評では、新年一発目の編集長の熱いコラムにご紹介します。

どうぞ最後までお付き合いください。

-----<目次>-----

1. 「AIZE Breath に新機能搭載！ 運転日報が記入できるようになりました」
2. トリプルニュース
3. IT 批評
4. 編集後記

1. 「AIZE Breath に新機能搭載！ 運転日報が記入できるようになりました」



2023年もトリプルアイズは、AI・ICTの分野でイノベティブなサービスを次々に提供していきます！

新年第1弾は、アルコール検知AIクラウドシステム **AIZE Breath** に**運転日報記入機能が追加**されるというお知らせからスタートです。

しばらく延期されていた白ナンバー事業者のアルコール検知器による検査義務化がですが、今年中には施行されるだろうと予想されています。情報が浸透しているのか、年末から年始にかけて義務化に向けた準備のためのお問い合わせを多く受けるようになりました。

そして、**1月12日からAIZE Breathに運転日報機能が追加**されました。この機能はAIZE Breathをご導入いただいたいくつかのお客様からご要望があり、追加したものです。

スマホでAIZE Breathのアプリを立ち上げると「目的地」「走行距離」「給油の有無」「オドメーター」をその場で記入することができます。

これまで、アルコールチェックの結果は検査時間と共に自動でクラウドに送られ、管理画面に反映されていましたが、運転日報は運転前後に手書きかエクセルでの入力が必要でした。

これからは、**運転に付随するすべての情報をデジタルで一元化**できるようになりました。ますます業務効率化が進んだといえます。

運転日報機能はオプションサービスになります。ご興味のある方はお問い合わせください。

<https://aizebreath.jp/>

併せて、AIZE Breathのハンディタイプが全日本トラック協会の安全装置等導入促進助成事業における**対象機器に選定**されたこともお知らせします。

Gマーク認定事業所が導入する場合に限り、助成対象となります。助成額は対象装置ごとに機器取得価格の1/2、上限2万円までとなります。

お申し込み等詳細につきましては、所属のトラック協会にお問い合わせください。

全日本トラック協会ホームページ：<https://jta.or.jp/>

2. トリプルニュース

「2023年テクノロジートレンド予測」



2023年とはどんな新しい技術が登場してくるのでしょうか？ トリプルアイズの技術部門の役員に**今年注目**している**テクノロジー**やサービスについて聞いてみました。

まず数名が挙げていたのが「**web3.0**」。web3.0とはブロックチェーン技術を基盤とした分散型のインターネットで、個人同士が管理者なしでインターネット上のやり取りができる技術です。暗号資産やNFTの普及、プライバシー問題への関心の高さを背景として、web3.0の社会実装が進んでいくと考えられるとのことでした。

また、「**未来予測サービス**」がトレンドになるとの声も。既存市場として、国内ビジネスアナリティクス（BA）市場は2桁成長を継続しているそうです。このBA、数理計画法や機械学習が用いられる場合が多く、AIのジャンルと捉えられる場合もあるとのこと。確かに弊社のAI案件においても、引き合いが増えてきています！

「**SaaS用のSaaS**」に注目する役員も。各企業におけるSaaSの利用数は毎年増えており、複数のSaaSの管理や連携の問題も起きています。その課題を解決するためのSaaSが提供されだしており、米国では、ユニコーンとなった企業も存在するとのこと。

そして、「**顔認証技術**」が広がりを見せるとの声も。顔認証技術の社会実装が進むと、IDカードや定期券に含まれる個人情報と個人の顔情報が紐づけられ、主にIDカードを使う場所や機会において、カードをかざす必要がなくなります！

さて、2023年とはどんなテクノロジーがトレンドとなるのでしょうか。楽しみです。

トリプルアイズの顔認証技術はこちら <https://aize.jp/>

「春に新卒28名が入社します！」



2023年4月に、新入社員28名を迎えます。毎月数名の中途入社の方はいるものの、まとめて大人数の社員を迎えるのはやはり4月。テクノロジーベンチャーで社会を牽引していくメンバーが一気に増えます。楽しみです。

昨年秋の内定式では、お一人お一人から決意表明もいただきました。

トリプルアイズでは内定者の皆さんにも社内報をお送りしています。トリプルアイズの現在地と未来について、随時意識を共有し、春に入社される皆さんがスムーズに会社に馴染めるとよいなど、広報担当として陰ながら応援しているのです。

「Japan IT Week 春 AI・業務自動化展に出展します」

Japan IT Week

春

2023年4月5日（水）から7日（金）までの3日間、東京ビッグサイトで開催される「Japan IT Week 春 AI・業務自動化展」にトリプルアイズも出展します。

AIやRPA、チャットボットなど、業務を自動化するソリューションが一堂に出展する専門展です。ぜひブースにお立ち寄りいただけると嬉しいです。

具体的な展示物や時間などの詳細については、また改めてご案内いたします。

3. IT 批評 月いち編集長レビュー



「マルクス・ガブリエルと小沢健二～ニヒリズムとメランコラリズムを超えていく」

新年最初のレビューはボリュームアップでお届けいたします。

昨冬のサッカーW杯は、テクノロジーの目が人の目に高らかに勝利を宣言した大会になりました。もうAIによる判定のない時代には戻れない、と誰もが思ったことでしょう。

では、私たちは機械の正しさとはどう付き合っていけばいいのでしょうか？

「機械的であるか、人間的であるか、この2つを軸に近代史は進んできた。大掴みにいえばそうなる。そして、近代（モダン）、ポストモダンを経て、いよいよこの2つはぶつかろうとしている。」どんなふうにつつかるのか、思索をお楽しみください。

編集後記

明けましておめでとうございます。今回も最後までお読みいただきありがとうございました。

2023年も隔週でお届けしていきますので、どうかご愛読の程よろしく願いいたします。

さて、皆さんは年末年始いかがお過ごしでしたでしょうか。私はというと、普段は保育園に通っている娘と連日一緒に過ごす濃い1週間でした。子どもは風の子といったもので、外の気温なんか関係なく公園を走り回り、手洗い場の凍り付くような水を素手で触って笑っています。

昨年の秋冬は娘も自分も体調を崩すことが多かったので、今年は健康第一。まずは毎日のスクワットから体力をつけたいと思います。それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに。
